



白鷹町立荒砥小学校だより

たくまっ子

平成29年11月15日発行 第14号



創立146周年を祝って

校長 齋藤芳昭

校庭の桜花も真っ赤に色づき、秋の深まりを感じる季節を迎えました。今日は、146回目の創立記念式です。全校生で、学校の長い歴史に思いを巡らし、学校に感謝する日にしましょう。

さて、みなさんは、この方の写真をどこかで見たことはありませんか。実は、図書室に掲示ある2枚の人物写真のひとつです。名前を「井上壮吉」と言います。今日の創立記念式をお祝いするにあたって、「井上壮吉」さんについてお話しします。

井上壮吉さんは、明治41年、今から110年前に荒砥に生まれ、荒砥小学校の子どもとしてしっかり勉強した人です。新聞配達をしながら学費をつくり、慶応大学で猛勉強をして、卒業後は東京に、金属を加工する会社「井上ステンレス株式会社」を立ち上げ、日本の経済発展に力を尽くしました。

〔略〕

時間は流れて、今からおよそ30年前の話です。井上さんも80歳を過ぎる年となり、時々子ども時代に過ごした荒砥の田舎の風景を思い出しては懐かしむようになったようです。そんな時に、荒砥小学校が創立120周年の記念の年を迎えたこと、さらには、鉄筋の近代的な新校舎に生まれ変わったばかりであること知りました。そして、井上さんは、「何か、荒砥小学校のためにできることはないか。」と考え、自分を育ててくれた母校へ、感謝の気持ちを込めて3つのプレゼントをすることにしたのです。

プレゼントの1つ目。井上さんは、学校ができたばかりで殺風景な校庭に、桜やつつじの樹木を植えてくださいました。グランド西側の真っ赤に色づいた桜並木は、井上さんからのプレゼントだったのですね。

2つ目は、当時まだプールがなかったので、東京の会社で作ったステンレス製のプールを山形まで運んでくれて、設置してくれました。夏になると楽しく水泳学習ができるのは、井上さんがプレゼントしてくれたプールのお陰なのです。

そして、3つ目は、たくさんの本のプレゼント。荒砥小の子ども達に『「本好きな子ども」「賢い子ども」になってほしい』という願いは、井上さんの一番の願いでした。ですから、毎年毎年、たくさんの絵本や物語、図鑑や辞典を贈り続けてくださり、90歳で亡くなるその年まで、井上さんからの本のプレゼントは続き、1500冊以上にもなりました。そしてプレゼントされたたくさんの本は、「井上壮吉文庫」として、たくさんの荒砥小学校の子ども達に読まれ続けているのです。

ぜひ、図書室に行ったら、「井上壮吉文庫」の本を手にとってみてください。30年余りの月日が経ち、贈られた本はみんなヨレヨレになってしまいました。でも、きっと井上さんは、天国で満面の笑みを浮かべて喜んでくれると思います。みんなが一生懸命読んでくれたから、ヨレヨレの本になったということを知っているのですから。

146回目のお誕生日をお祝いするにあたり、「井上壮吉文庫」のお話をしました。井上壮吉という偉大な企業経営者は、私たちと同じ荒砥小学校で学んだ大先輩であり、彼が興したステンレス会社が今なお、日本の経済を支えるために大きな貢献をしているということは、私たちの気持ちを誇らしいものにしてくれます。そして何より、井上壮吉さんが晩年いつも願っていた、ふるさとの子ども達が「本好きな、賢い子ども」であってほしいという願いを忘れてはなりません。期待にしっかり応えることができるよう、しっかりとがんばっていきましょう。

(H29.11.10 146周年創立記念式の中で)



校是 「琢磨」 知徳ヲ切磋琢磨シテ有用ノ材トレ
かしこく つよく えがお輝く たくまっ子

<http://arato-es.com/> (ウェブページは「荒砥小学校」で検索)

荒砥小学校の誕生日を祝って

6年 梅津星那

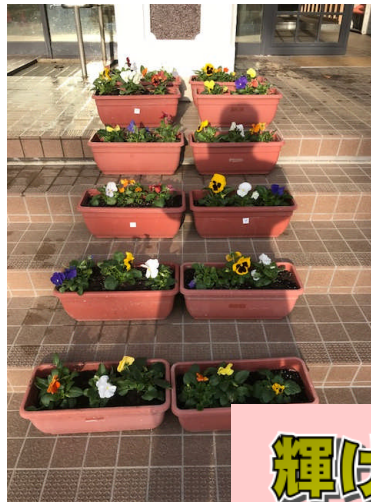
今年度、荒砥小学校は146周年を迎えました。この長い歴史の中で、たくさんの卒業生が巣立っていきました。その一人一人には、学校に対する思い入れや思い出があったと思います。そして今、ぼくたちは、「ありがとう」の気持ちを持って創立記念式にのぞんでいます。最近荒砥小学校は、改修工事で校舎やプールがとてもきれいになりました。以前とはちがひ、気持ちのいい校舎で毎日生活しています。この環境をずっと残していきたいと、ぼくは思っています。

今の学校のよいところは、休み時間に仲間はずれがなく楽しく遊べる、お互いにわからないところを教え合える仲間がいること。行事などでは、リーダーを中心に全校生がまとまりを持って活動できるなど、仲間意識の高いところだと思います。そんな「たくまっ子」のぼくたちだからこそ、一緒に考えてほしいことがあります。

それは、伝統的に続いている「朝のあいさつ運動」です。その中で思ったことは、大きな声であいさつを返してくれる人や、はずかしそうに返す人など、全校生は差が見られるということです。お互いにあいさつをすれば気持ちいいし、そこからコミュニケーションが生まれ、お互いを知ることができます。中でもぼくは、『おはようございます。』のあいさつがとても大切だと思います。このあいさつが、自然に大きな声でできればとてもよいことなので、こんなあいさつがをめざしていきたいです。

ぼくは、みんなで行う活動の意味を一人一人がしっかり考えることで、たくさんの大事なことがみえてくると思います。そうすれば、様々なことが楽しみになるし、学校に対する「ありがとう」の気持ちが生まれてくるのではないかと思います。

みんなで、一つ一つの活動や行動の意味を考えながら、「たくまっ子」みんなで気持ちよく学校生活を送っていきましょう。



輝け! たくまっ子!



— 3. 5年 土に親しむ活動 —

パンジーを植えよう!

9日(木)の昼休みの時間を利用して、3, 5年生がパンジーの花植え活動を行いました。植えた花苗の数は約150株。5年生と3年生がペアをつかって、ひとつのプランターに3株ずつ植えました。

厳しい冬を耐え抜いた苗たちは、来年の3月には重たい雪を押しつけて元気な花を咲かすことでしょう。



いじめ・非行をなくそう

やまがた県民運動標語コンクール

【敬称略】

優 秀 賞	2年	橋本秋夕美
優 秀 賞	5年	小形 竜輝
優 秀 賞	6年	宮澤 唯斗

11-12月の予定

- 11/ 17(金) 臨時休業日(職員の研修会の為)
- 22(水) 授業参観・PTA研修会
- 23(木) 勤労感謝の日
- 24(金) 全校計算テスト 読書デー
- 25(土) 地区PTA交流会(白鷹中学校)
- 12/ 11(月) 校内研修会(短縮日課)
- 25(月) 第2学期終業式
- 23(土) 天皇誕生日